

岡山県法人会連合会 会長賞

僕達を支えてくれる税金

玉野市立山田中学校 1年

木村 伊吹

「税」について僕は普段の生活であまり考えたことがなく、買い物をした時に支払う消費税くらいしか分かりません。しかし、新聞やニュースで、消費税が8パーセントになったことで物の値段が上がり各個人の生活費負担の増加や国内の消費が減り景気が悪化するのではないのかということや、税金が無駄遣いされていることが取り上げられるので、税金について考える機会が多くなりました。

僕は幼い時からよく熱を出したり、アレルギー性鼻炎があるので定期的に病院に通って治療をしてもらっています。また、最近では野球で肩を痛めて、リハビリに通い治療をしています。ある時診察を終え帰る時にお金を払わずに帰っていることに気づき、母に何故払わないのか聞いたことがありました。すると母が、僕が住んでいる玉野市では中学校3年生修了まで医療費の助成を受けられると教えてくれました。これは保護者の負担を軽減し、児童が健やかに育つことを願って玉野市が実施している子供医療費助成制度です。子供が病気やケガをした時にお金の心配をせずに病院で治療してもらえるこの制度に本当に感謝していると母が言っていました。僕は税金がこのような使われ方をしていること、自分も税金に助けられていることを初めて知りました。

また、僕の祖父は67歳で年金をもらっています。この年金も税金からまかなわれていることを知りました。現在の日本は65歳以上の高齢者人口が、3千3百84万人（平成27年度9月現在）で総人口に占める割合が過去最高となっています。一方15歳未満の子供の人口は減少しており、少子高齢化が進んでいます。高齢者が増えると医療や年金、介護などに必要なお金が増えていくこととなります。このまま少子高齢化が進んでいくと、2050年には、20～64歳の人1.2人で65歳以上の人1人を支えなくてはならないと予想されています。高齢者の生活を支える若い人の数が減ると、支える側の負担がどのくらい大きくなるのだろうかと考えるととても不安になってしまいますが、今迄一生懸命に働き税金を納めてきてくれた高齢者の方が安心して生活できるように考えなくてははいけません。また、僕たちは税金のおかげで、病院で治療ができたり、学校で勉強できたり、安心し、幸せに暮らすことができていることを感謝して、将来の日本を支える僕達一人一人が今から税金の集め方やその使い道について真剣に考える機会を多くつくるのが大切だと思います。